

## 松南地区の地域づくり

松南地区では、町会と住民が一体となって 4 つの事業を展開しています。  
これらの事業は毎年開催され、準備から町会役員や住民が携わる手作りの事業です。  
事業を通じて松南地区の地域づくりにどのように関わっているのか？  
ここからは事業に携わる皆さんの熱い想いを紹介しましょう。

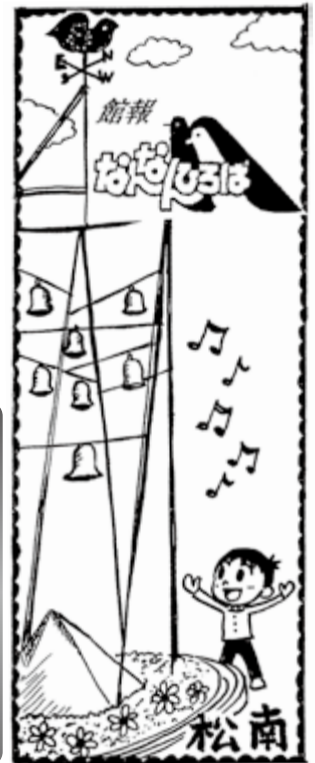
### 9/6 なんぶ未来まつり



私が子どもの頃、南部球場という広場で毎年地域の運動会があった。  
競技に参加すると景品に鉛筆やパンがもらえた。楽しかった。  
今、同じような場所で「未来まつり」が行われている。まつりに来る子どもを見ているととても楽しそうだ。  
役員として関わられて良かったと思う。子どもたちが年をとっても、いつか松南地区で行われていた「未来まつり」を思い出してくれるだろうか。

### 「なんぶ未来まつり」

南松本2丁目町会長  
古林 数久



### 11/16 健康まつり松南



### 「健康まつり松南」

芳野町会長 吉田 廣志

本年度で健康まつり松南（小運動会）は第13回目を迎えました。松南地区は、市内で唯一神社仏閣のない地域です。地区内での集まりは、福祉ひろばでの「いきいき健康教室」地区全体での「なんぶ未来まつり」しかありません。そんなことから始まりました「健康まつり松南」は、南部体育館に地域の方が集まります。個人競技や四つのグループに分かれての競技などを6ゲーム行い、最後に綱引きで終了です。競技ごとに景品をキャッチして心地よい汗を流し、地域の方と話し合いながら楽しく笑いがおきた一日でした。

### 「ふれあい健康教室」

福祉ひろば 井口 純子

月に一度の「ふれあい健康教室」を楽しみに誘い合って参加し、出会いが新しい仲間づくりとなり輪が広がっています。来れば仲間に出会える喜びと安心感もあるとの声を聞きます。お互いを気遣い、心配し、町会を超えての絆を感じます。また、当番町会の際には協力的で、久しぶりに会える方もいて心強い存在です。これからもひろばがみなさんの交流の場になると嬉しいです。

### 12/19 ふれあい健康教室



### 「居酒屋町内公民館」

「乾杯」の発生のもと、笑顔、笑顔でビールやお酒を酌み交わします。  
「あれはどうなったの？」  
「あの人は元気？」話が弾みます。

そのうちにカラオケ大会が

始まりました。

宴もたけなわとなり、口々に「居酒屋町内公民館は楽しいね」「またやろうよ」。

皆さんの声を聞いて、地域の絆づくりに繋がっているものと思えました。

（川上正彦）

### 11/29 南松本2丁目公民館



### 「気寄りの場」

以上のように決して多彩とは言えませんが、この地区で1年間に開催されている行事の主なものです。

課題は全くなとは言え嘘になります。住民の方々が地元感を少しでも感じて、「気寄りの場」となっていたらいいと思います。工夫をこらして参加者を一人でも増やそうとして努力を重ねています。

毎月「広報」と一緒に地区からの「ご案内」の個別配布や回覧をお届けしていますので、是非見逃さないようにしてください。

（百瀬 壽）



## 「松本今昔」に浸る

11月26日、双葉町いきいきサロンは、松本大学の考房『ゆめ』の先生方を招き、貴重な昭和の映像を通し、松本の原風景を見つめました。

松本五十連隊、松本城の復元、はやしや屋上など商店街の賑わい、チンチン電車等々の映像に、コミュニケーションフェ・マスターのコーヒーマも添えられ、まさにサロンでした。

郷愁の傍ら、歴史や情景を通じ自分史や松本らしさを共有する機会ともなりました。学生には市民に根付いた旧町名も伝えているとのこと。こうした語り場が次世代と共感する機会に発展することを期待します。(白澤 幸男)



## 松南地区のできごと ④

1/11 三九郎(双葉町会)



▶ 開明小学校校庭

1/11 三九郎(宮田中・宮田西町会)



▶ 開明小学校校庭

1/10 三九郎(芳野町、南松本1丁目町会、2丁目町会)



▶ 芳野町公民館横空地

12/18 イルミネーション点灯



▶ 今年も点灯しました

12/13 クリスマスコンサート(図書館)



▶ 楽しいコンサートでした

1/11 三九郎(双葉西・双葉南町会)



▶ 双葉西公民館横公園

## コラム 松南

昨年は春と秋が極端に短く、長い夏のなか猛烈な暑さが連日続きました。命の危険を知らせる熱中症警戒アラートが頻繁に出され、熱中症対策に追われる日々でした。そして秋の実りと同時に日本各地で熊が人里や市街地まで下りてきて、人身事故が発生し、熊の遭遇に備えが必要になりました。熊というと、今までは動物園で餌を欲しがる姿や「プーさん」や「くまモン」など、可愛いイメージが先行していたのは私だけでしょうか。気候変動が熊の生態へも影響を及ぼし、人間と接触せざるをえない状況になってしまったかはわかりません。人を恐れない気性の荒い熊ばかりではないと思いますが、里に下りない熊のこの冬のドングりは十分足りたのか案じます。これからも山登り、山菜採りに限らず、通学や農作業でも熊への危険に備えが必要です。温暖化が言われる中、私たちにふりかかる心配、不安の種は次から次へと変化していきます。次は何に備えが必要になるでしょうか。

(佐々木 恒男)